

文化庁

地域文化創生本部だより

Vol.16



新・文化庁に エール

京都中央信用金庫
白波瀬理事長に聞く
「京都で輝く“新・文化庁”」



地元の人から「中信さん」と親しみを込めて呼ばれている京都中央信用金庫は、京都を中心に132店舗を展開し、地域の活性化はもとより、京都の文化・人材を育み、環境問題や社会福祉活動などCSR活動にも積極的に取り組まれています。今回は、白波瀬誠理事長に伝統と革新を繰り広げる京都への思いや芸術文化活動への支援、さらには来年春に京都において業務開始を目指す新・文化庁へ期待することなどを、本年1月に着任いたしました文化庁 地域文化創生本部の高田行紀事務局長がお伺いしました。

【文化庁 地域文化創生本部】TEL:075-330-6720(代表) 東山区東大路通松原上ル三丁目毘沙門町43-3

地域密着金融機関として
歩んでこられた京都への思いを
お聞かせください

京都は千年もの歴史に裏打ちされた都であり、また三方が山に囲まれた一つのエリアの中で情報共有する街づくりがしっかりとされている都市であることから、多くの職業が栄え、それが伝統文化や伝統産業として様々な形で育まれ、今日に至っています。また京都企業はあまり間口を広げ過ぎず、奥行き深い商いを堅実に作り、比較的安定した経営を続けてきていることも大きな特徴です。長年にわたり匠の技を極める文化から、多くのベンチャー企業が生まれ、世界に誇る先端企業を輩出しているのも京都の誇りです。



京都中央信用金庫 白波瀬理事長

当金庫では、新規創業や大学発ベンチャーなどを支援するため、昭和60年に中信ベンチャーキャピタル株式会社を創設し、これまで99社に約18億円を投資し、投資先の株式公開は11社を数えるようになりました。

金庫業界のトップランナーを誇る当金庫としては、今後とも地域に根差した金融機関としての使命を果たしていきたいと考えています。

芸術文化活動やSDGsにも積極的に取り組まれていますね

地元京都への感謝を込めて、社会貢献活動を継続的に行うことも地域密着金融機関としての役割です。昭和62年には預金量1兆円達成を記念して財団法人中信美術奨励基金を設立しました。毎年3名の芸術家にお一人当たり賞金200万円の京都美術文化賞を授与させていただき、受賞者はこれまでに100名を超え、多くの芸術家にとって目標となる賞と言っていただけるようになりました。



受賞者にはその後、文化勲章を受章された方、芸術院会員や人間国宝になられた方もおられます。そのような賞にと誇りを感じております。また、



文化庁 地域文化創生本部
高田事務局長

での企画展開催など、芸術家の創作活動への息の長い支援を通じ、文化芸術の発展に力を入れています。一方、SDGsへの取り組みの一環として、伝統の継承や文化を育む活動も行っていきます。例えば、京都の料亭を応援するため、クラウドファンディングを活用し、「京都料亭文化プログラム」を立ち上げました。料理人はもちろんのこと、料理を盛る器や床の間を彩る美術工芸品や生け花などのしつらえ、さらには庭園に至るまで一つの空間に凝縮された料亭は日本文化の集大成といっても過言ではありません。このプロジェクトには京都の19の料亭が参加し、1000名を超える方々から3000万円強をご協力いただき、料亭文化の魅力を発信することが出来たことは、大変意義があったと思っています。さらに、令和元年から開始したINSPIRATION OF KYOTOは、京都の地で長い年月をかけて洗練された伝統的な素材・意匠・技術をもとに、フランス人デザイナー等のサポートを受けながら、世界に通用するインテリアや素材を開発し、パリで開催されるメゾン・エ・オブジェに

出展するなど、国内だけでなく海外への展開も視野に入れたプロジェクトです。本プロジェクトの本質は、京都の代表的産業である伝統的産業の相次ぐ廃業や事業承継問題の顕在化に対する課題解決もありますが、これまでの文明的価値から文化的価値にビジネス価値を見出す先進的な挑戦であると考えています。

新・文化庁にはどのようなことを期待されますか

京都だけに限りませんが、所有者の自費だけで維持するには困難な町家や未だ整理できていない歴史的価値のある文化資源が数多くあります。クラウドファンディングなど様々な保存継承の方策も講じられていますが、継続的な支援となると長続きしません。所有者が海外に移転させてしまいうケースも見受けられますので、こうした指定されていない文化的価値のあるものを守っていくためにも、きめ細かな施策を講じてもらいたいと思います。

文化庁の京都移転に伴い、「オール京都」で文化を基軸としたまちづくりを進めていくことにより、経済活性化につながることも、日本がそして京都がこれまで以上に世界の人々を魅了できるよう導いていただくことを期待しています。

ようこそ!わが社のミュージアムへ

京都中央信用金庫の所蔵作品や(公財)中信美術奨励基金に関する芸術家の作品を企画展示し、京都の芸術文化の振興と継承を目的に運営されています。南欧風の瀟洒な外観も魅力的な美術館です。

入館料 無料 開館時間 10:00~17:00 (最終入館16:45)

休館日 月曜日、展示替期間 ※最新の企画展情報はHPでご確認ください

中信美術館

上京区下立売通油小路東入西大路町136-3(京都府庁正門西約100m)
TEL:075-417-2323 <https://www.chushin.co.jp/bijyutu/>

